#### 由利本荘市立岩谷小学校 校報



# 虹のかけ橋

令和5年11月24日

第 36 号

発行 校長

## 読み聞かせボランティアの皆さんありがとうございます

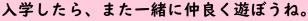
聞いている子どもたちも、その臨場感たっぷりの話し方に引きつけられ、食い入るように本を見ておりました。しっかりと心の栄養になりましたね。ありがとうございました。





#### ~年長さんが遊びに来てくれました~

2 | 日(火) 岩谷保育園の年長さんが本校を訪問し、 | 年生と一緒に遊びました。生活 科で作ったおもちゃの遊び方を紹介し、お世話をしながら交流を深めることができました。







### ~大内小の6年生と交流しました~

2 | 日(火) 6年生はバスで大内小に向かい、来年一緒に入学する6年生同士で交流を 深めました。岩城少年自然の家の職員の方が、様々なゲームを用意してくださったおかげ で、よそよそしかった子どもたちも徐々に打ち解け、帰る頃には、もうすっかり友達気分 で手を振ってお別れをしました。入学したら、また一緒に頑張ろうね。



ボールはど真ん中でした。そのボールに合わせてバットをふると、ボ

こまで練習に付き合ってくれたお父さんに感謝の気持ちでいっぱいで

ルはレフトの頭をこえました。その結果は、ツーベースでした。こ

り、たくさん練習をしました。そして、試合の日。お父さんのために、 貢献したいという思いから、お父さんが帰ってくる前に練習を始めた トに投げたボールが当たるようになっていました。少しでもチームに 生になって試合に出ることが多くなりました。4年生のころよりバッ

絶対打つ」という気持ちで打席に立ちました。ピッチャーが投げた



入

「学校にも行けるかも。

まって午後も行けるようになりました。

こうして学校に行けるのは、母がくれた勇気と友だちの笑顔のお

す。コップに勇気を注いだように。何度も学校にいくうちに勇気がた

たらどう。」と提案してくれました。ぼくは勇気を出して学校に行き

」と思いました。母は、「午前でも行ってみ

ました。なにも変わらなかったのに何か変わったような気がしたんで

れてってくれ自信をつけてくれました。ぼくはとってもたのしくて

たのに勇気なく行けませんでした。心配していた母は、色々な所につ

ムをしてました。でも心の中では学校に行った方がいいと知ってい

をくり返してしまいました。そして家でねたりすきな時間に勉強やゲ

ぼくは、三年生のころ少し学校に行きづらくなり数週間早退や休み

選

やっぱり一緒に住んでいる家族なのですね。 ています。落ち込んでいたときに支えてくれたのは、 どちらの作品も、 自分の心の移り変わりを書き表し

感謝のツーベース

打は打つことができませんでした。でも、お父さんに 野球部に入っています。 入部したときの私は、 「長打を打ちた

ました。その日から毎日、素振りとバッティングの練習を続けました。

い」と言うと「練習をつみ重ねれば、打てるようになるよ」と言われ

お父さんも疲れているはずなのに練習に付き合ってくれました。五年

岩谷小学校 松永いろは 岩谷小学校

勇気を注いだコップ

朝夕とすっかり寒くなってきました。子どもたちも、登下校の際にも手や耳が冷たく感 じることと思います。帽子やイヤーマフラーなどの防寒具の準備をお願いします。ポケ ットに手を入れた状態は思わぬケガにつながりますので、手袋の着用をオススメします。